

教育研究上の目的

麗澤大学

麗澤大学は、創立者・廣池千九郎が提唱した「知徳一体」の建学の精神に基づき、大学教育を通じて学生の心に仁愛の精神を培い、世界の平和、人類の幸福及び持続可能な社会の実現に貢献するため、研究・教授を行い、円満な知徳と精深な学芸、特に国際的識見を備えた有能な人材を育成することを目的とする。

外国語学部外国語学科

建学の精神「知徳一体」を基軸にした人格教育によって、多言語・多文化の平和的共存を実現するための包括的な価値観の形成及び人格陶冶を目指す。かつ国際教養教育により外国語・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えたグローバル化に対応できる国際的教養人を育成することを目的とする。

英語コミュニケーション専攻

英語の4技能（Listening、Reading、Speaking、Writing）を徹底的に磨きながら、英語による情報発信能力を高める。「英語学」「英語教育」「異文化コミュニケーション」の方法論を学び、英語を実践的に運用できる人材を育成することを目的とする。

英語・リベラルアーツ専攻（英語・英米文化専攻）

英語の実践的運用能力（Listening, Reading, Speaking, Writing）を磨きながら、文化、社会、歴史を柱として幅広い知識を身につける。英語で発信される世界の情報に積極的にアクセスし、文化の多様性を理解し、グローバルにビジネスやサービスの分野で活躍できる人材を育成することを目的とする。

国際交流・国際協力専攻

多様な学習機会と実践体験を通して「4つのC」＜Communication（コミュニケーション能力）、Compassion（共感する力、思いやる力）、Commitment（関わろうとする意思、行動力）、Capability（専門的な知識と技能）＞を身に付けた、グローバルな視野を持ち、国際社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

ドイツ語・ドイツ文化専攻

ドイツ語（及び英語）によるコミュニケーション能力と異文化適応能力、さらに柔軟な発想力と創造力を兼ね備え、周囲と協働して問題解決にあたれる人材を育成することを目的とする。

中国語専攻

実践に役に立つ中国語の運用能力を身につけるための基礎を徹底して固め、異文化コミュニケーションに関する基礎的対応能力を高めるとともに、言葉の背景にある歴史や文化にも目を向けさせる。将来の東アジア関係を視野に入れ、中国語に堪能で、かつビジネスに精通した人材を育成することを目的とする。

日本語・国際コミュニケーション専攻

日本語及び広く日本文化に通じ、多言語・多文化に理解を持ち、世界的視野に立って活躍する人材を育成する。また、文化や考えの異なる相手に対して自身の意見・考えを伝えられる力やコミュニケーション力を、英語及び日本語の双方で養成すること。さらに、留学生と日本人学生のコラボレーションを通じて、多文化共生の方法論を学ぶこと。以上、三点を目的とする。

経済学部

建学の理念である道経一体の考えに基づき、国際性と倫理性を備え、国際社会に貢献し得る人材を育成する。高い道徳力に支えられ、経済学・経営学に関する基礎的専門力を備えた人材、すなわち国際公共人を育成することを目的とする。

経済学科

道徳と経済の一体を教育理念として、国際性と品性を備え、かつ経済理論や経済政策に関する専門性を有する人材（経済学の理論に裏づけられた分析力を有し、現実の経済の分析と改善策を提言できる能力をもった経済専門家）を育成することを目的とする。

経済専攻

経済学という個人と社会を組みあわせる学問の基礎を学び、道徳と経済との関係性、経済倫理やガバナンスなどを通じて、世の中にある多様な問題を専門的に解決できる人材を育成することを目的とする。

グローバル人材育成専攻

高い品性に支えられ、世界の人々の安心、平和、幸福の実現を目的として活躍する人材を育成することを目的とする。英語で経済・経営を学ぶ。在学中に全員が留学することを目標に、徹底した英語教育と英語による専門科目の授業を受けることにより、語学＋専門力の人材を育成する。

経営学科

国際性と品性を備え、道経一体経営の理念をもって、21世紀に範を示す先駆的な経営を探究することによって、広い視野と深い洞察力を兼ね備えた経営エキスパートを育成することを目的とする。

経営専攻

経営者や起業家を筆頭に、あらゆる組織を運営、マネジメントする人材を育成し、リーダーに不可欠な経営センスと人間力を養う。少人数の体験方の授業、自ら考えて行動する実践型の授業を多く学ぶことにより、現場で通用する実力を身につけた人材を育成することを目的とする。

会計ファイナンス専攻

あらゆる企業や組織に不可欠な経理・会計・財務・ファイナンスの専門家を育成する。全学生が日商簿記とファイナンシャル・プランナーの2つの資格を取得する。手堅い資格を2つ以上取得することで、金融、会計、ファイナンスなどの領域から、組織の運営、マネジメントをサポートする人材を育成することを目的とする。

スポーツビジネス専攻

「スポーツ力」「経営力」「人間力」をキーワードに、スポーツを一生の仕事とするのに必要な理論・技術を修得する。地元プロサッカークラブチーム「柏レイソル」と教育連携を結び、フィールドワークやインターンシップなどを行うなど、ボランティアや外部企業と連携したプロジェクト型授業によって実践力をもつ人材を育成することを目的とする。

麗澤大学大学院

本大学院は、建学の精神に基づき、学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

言語教育研究科

欧米やアジアなど世界の様々な言語を通して高度な専門知識を身につけ、教育機関や研究機関・国際的企業などで、有為な人材として貢献できる教育者、研究者、実務家の養成を目的とする。

日本語教育学専攻

普遍的な言語理論と日本語学の成果とを踏まえ、それらの深化及び日本語教育学の理論的・実践的展開を図ることによって、日本語教育機関で活躍できる人材の育成及び研究者の養成を目的とする。

比較文明文化専攻

世界の諸文明と世界各地の文化を比較の観点から探究し、文明圏の交流や多様な文化に関する理解と認識を深める。地球と人類の未来を開拓する新たな文明の創造を志向しつつ、世界の平和と文化の保持・発展のため、教育研究職、国際機関等で貢献できる広い

視野を備えた人材の育成を目的とする。

英語教育専攻

高度な英語力をもとに、英語学・英語教育学・コミュニケーションという学問を探究し、専門領域の英知と英語力を駆使できる英語教員・研究者・企業等で活躍する人材の育成を目的とする。

経済研究科

経済研究科は、経済学及び経営学における研究者及び専門家の養成を目的とする。

経済学専攻

修士課程として、経済学及び関連領域において先導的な研究を推進できる研究者及び実務専門家の養成を目的とする。内外の諸機関において求められる公共政策を担う人材を育成する。

経営学専攻

修士課程として、経営学及び関連領域において先導的な研究を推進できる研究者及び実務専門家の養成を目的とする。内外の諸機関において求められる問題解決能力を有する人材を育成する。

経済学・経営学専攻

博士課程として、経済学及び経営学の理論研究及び実証研究の深化を通して、先進的な研究を指導できる研究者及び専門家の養成を目的とする。

学校教育研究科 道徳教育専攻

修士課程として、道徳教育専攻は、学校教育の基盤をなす道徳教育についての優れた実践的指導力を身につけた教員と深い専門的学識を持った研究者の育成を目的とする。

以上